

事務事業名	コード1	1045	育児支援事業	課	健康管理課			
	コード2	④	育児相談	所属班	支援班			
			<input type="checkbox"/> 主要事業	電話番号	57-3113	内線	なし	
政策体系	基本方針	3	健やかでやすらぎのあるまちづくり	予算科目	会計	款	項	目
	施策	1	保健の充実		一般会計	04	01	03
	施策の展開	4	母子保健の充実	根拠法令	母子保健法 第9条、第10条			
	基本事業	136	育児支援事業					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 55 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	実施内容:市内の保健センターにて、児の身長、体重計測及び発育相談、歯科相談、栄養相談、ことばの発達についての相談、その他育児に関する相談を実施し、育児不安の軽減に繋げていく。 対象者:乳幼児健診後、事後継続支援者および相談希望者 開催回数:毎月1回 【業務の流れ】 対象者抽出→通知→会場準備→受付→児の身体計測→個別相談(保健師、歯科衛生士、栄養士等専門職より順次行)→システムへの入力、業務報告

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
臨時雇賃金+通勤(育児支援事業費案分)	46千円	千円			23			
② 延べ業務時間の内訳		事業費内訳						
事前:対象者への通知発送、資料、会場準備		国庫支出金	千円					
当日:相談実施		都道府県支出金	千円					
事後:事後処理、報告 延べ80時間		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	110	47	23	75	
		事業費計(A)	千円	110	47	46	75	0
		正規職員従事人数	人	0.04	0.04	0.04	0.04	
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	
		人件費計(B)	千円	304	304	304	304	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	414	351	350	379	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 保健師、歯科衛生士、栄養士による個別相談をおこなう。年12回延84名に対して実施。継続支援者51名、相談希望者53名。	ア 育児相談開催回数	回	15	14	12	12		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 23年度と同様に開催していく。昨年度よりつどいの広場での実施をなくし、従来の育児相談になったことで個々へのきめ細やかな対応を目指す。	イ 育児相談利用者数(育児の悩みや不安がある人の利用者数)	人	162	163	84	90		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	乳幼児健診事後経過観察者及び相談希望者	ア 継続支援者対象人数(子育て支援が必要な人数)	人	148	84	51	50		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
今後も支援が必要な乳幼児に対しては相談後引き続き経過を確認をしていき、保護者の不安を軽減していく。 ・育児の悩みや不安がある、定期的に発育を確認したいという相談希望者には指導、助言することにより育児不安の軽減を図る。	ア 継続支援者の来所率(フォローしている人の来割合)	%	54.1	45.2	60.7	80			
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	定期的に相談ができる場があることで、育児不安の軽減につながり、地域の中で安心して子育てができる。	ア							
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
昭和55年より乳幼児の発育・発達のチェックと保育に対する不安の軽減のため、実施が始まる。	少子化、核家族化が進み、子育てについての不安や悩みを相談できる人がいない母親が増えてきていることから、専門的な支援が求められる。	育児や家庭環境の不安、悩みの相談を真摯に受け止め、傾聴、指導していく中で、「安心した」「来所してよかった」等の声があった。

事務事業名	育児支援事業 育児相談	課名	健康管理課	班名	支援班
-------	----------------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかか？意図することが上位目的に結びついているか？ 子育て支援や育児不安を軽減することにより、子育てのしやすい環境づくりに結びついている。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 乳幼児健診後、支援が必要な児を持つ保護者や希望者も対象となっており、妥当である。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 子どもの発達段階により、悩みや不安は変化してくる。市民が相談に行きやすく、専門職がそろった場所を設けることにより、子育てがしやすく住みやすい街づくりにつなげることができる。
	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 継続支援者の来所率は増加している。(45.2%→60.7%)。
有効性 評価	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ 保護者が育児についての悩みや不安を感じた時に相談できる場を提供しており、今後も来所者に対して専門職がきめ細やかな個別対応をすることで、育児不安の軽減を図り、成果の向上に繋げることができる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(①訪問相談・電話相談 ②子育て相談<子育て支援センター>)) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ ①育児相談は主に乳幼児健診事後支援の場として実施しており、継続支援が望まれるケースについては、各種相談等の事業につなげている。 ②保育士が担当している子育て相談では、具体的な保育や親子で楽しむ遊びなどを学ぶ機会に繋がるのではないかと。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 来所者状況から見て、現在の頻度が適当と考えられるため。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 現在すでに臨時職員(保健師)が対応しており、専門的な相談をしたいという来所者の要望に答えるには、適切な頻度のため、削減余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？事業のやり方改善による成果向上 市広報、健康カレンダーにより周知しており、育児についての相談希望があれば誰でも利用できる。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 自課での事業連携はもちろんのこと、子育て支援センターとの連携を図ることで保育の専門家からのアドバイスを受けることができるので、効果的な保育支援に繋がると思われる。
--	--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業： <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ① 子育て支援センターとの連携(平成24年度連携方法検討会の実施) ② ③ ④																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ① ② ③ ④																								